



基本的なデバイス管理

- - 基本的なデバイス管理の概要, on page 1
 - パスワード回復のガイドライン (1 ページ)
 - デバイスのホスト名の変更, on page 2
 - MOTD バナーの設定, on page 3
 - タイム ゾーンの設定, on page 4
 - 夏時間の設定, on page 5
 - デバイス クロックの手動設定, on page 6
 - クロック マネージャの設定 (7 ページ)
 - ユーザーの管理, on page 8
 - デバイス コンフィギュレーションの確認, on page 8
 - 基本的なデバイス パラメータのデフォルト設定, on page 8

基本的なデバイス管理の概要

ここでは、基本的なデバイス管理の概要について説明します。

パスワード回復のガイドライン

これらの手順に従い、パスワードを復元します。

- 管理者パスワードを変更するには、管理者としてログインする必要があります。
- Cisco Nexus 36180YC-R シャーシの場合は、Ctrl+L を押してブート プロセスを中断し、> ローダー プロンプトを表示します。

■ デバイスのホスト名の変更

デバイスのホスト名の変更

コマンドプロンプトに表示されるデバイスのホスト名を、デフォルト（switch）から別のストリングに変更できます。

SUMMARY STEPS

1. **configure terminal**
2. **{hostname | switchname} name**
3. **exit**
4. (Optional) **copy running-config startup-config**

DETAILED STEPS

Procedure

| | Command or Action | Purpose |
|-------|--|---|
| ステップ1 | configure terminal Example: switch# configure terminal switch(config)# | グローバル構成モードを開始します。 |
| ステップ2 | {hostname switchname} name Example: hostname コマンドの使用： switch(config)# hostname Engineering1 Engineering1(config)# switchname コマンドの使用： Engineering1(config)# switchname Engineering2 Engineering2(config)# | デバイスのホスト名を変更します。name引数は、32文字以内の英数字で指定します。大文字と小文字が区別されます。デフォルトはswitchです。 Note switchname コマンドは、 hostname コマンドと同じ機能を実行します。 |
| ステップ3 | exit Example: Engineering2(config)# exit Engineering2# | グローバルコンフィギュレーションモードを終了します。 |
| ステップ4 | (Optional) copy running-config startup-config Example: Engineering2# copy running-config startup-config | 実行コンフィギュレーションを、スタートアップコンフィギュレーションにコピーします。 |

MOTD バナーの設定

ユーザーがログインするときに端末でログインプロンプトの後に MOTD が表示されるよう設定できます。MOTD バナーには、次の特徴があります。

- 1 行あたり最大 80 文字
- 最大 40 行

SUMMARY STEPS

1. **configure terminal**
2. **banner motd *delimiting-character message delimiting-character***
3. **exit**
4. (Optional) **show banner motd**
5. (Optional) **copy running-config startup-config**

DETAILED STEPS

Procedure

| | Command or Action | Purpose |
|--------|---|--|
| ステップ 1 | configure terminal Example: switch# configure terminal switch(config)# | グローバル設定モードを開始します。 |
| ステップ 2 | banner motd <i>delimiting-character message delimiting-character</i> Example: switch(config)# banner motd #Welcome to the Switch# switch(config)# | MOTD バナーを設定します。メッセージテキストでは、区切り文字を使用しないでください。 Note " または % は、区切り文字に使用しないでください。 |
| ステップ 3 | exit Example: switch(config)# exit switch# | グローバルコンフィギュレーションモードを終了します。 |
| ステップ 4 | (Optional) show banner motd Example: switch# show banner motd | 設定された MOTD バナーを表示します。 |
| ステップ 5 | (Optional) copy running-config startup-config Example: switch# copy running-config startup-config | 実行コンフィギュレーションを、スタートアップコンフィギュレーションにコピーします。 |

■ タイム ゾーンの設定

タイム ゾーンの設定

UTC からデバイスのクロック時刻をオフセットするためにタイム ゾーンを設定できます。

SUMMARY STEPS

1. **configure terminal**
2. **clock timezone zone-name offset-hours offset-minutes**
3. **exit**
4. (Optional) **show clock**
5. (Optional) **copy running-config startup-config**

DETAILED STEPS

Procedure

| | Command or Action | Purpose |
|--------|--|---|
| ステップ 1 | configure terminal Example: <pre>switch# configure terminal switch(config)#</pre> | グローバル設定モードを開始します。 |
| ステップ 2 | clock timezone zone-name offset-hours offset-minutes Example: <pre>switch(config)# clock timezone EST -5 0</pre> | タイム ゾーンを設定します。zone-name 引数は、タイム ゾーンの略語（PST や EST など）である 3 文字の文字列です。offset-hours 引数は、UTC からのオフセット値であり、有効な範囲は -23 ~ 23 時間です。offset-minutes 引数の範囲は、0 ~ 59 分です。 |
| ステップ 3 | exit Example: <pre>switch(config)# exit switch#</pre> | グローバルコンフィギュレーションモードを終了します。 |
| ステップ 4 | (Optional) show clock Example: <pre>switch# show clock</pre> | 時間とタイム ゾーンを表示します。 |
| ステップ 5 | (Optional) copy running-config startup-config Example: <pre>switch# copy running-config startup-config</pre> | 実行コンフィギュレーションを、スタートアップコンフィギュレーションにコピーします。 |

夏時間の設定

デバイスで夏時間有効にする時期と、オフセット（分単位）を設定できます。

SUMMARY STEPS

1. **configure terminal**
2. **clock summer-time zone-name start-week start-day start-month start-time end-week end-day end-month end-time offset-minutes**
3. **exit**
4. (Optional) **show clock detail**
5. (Optional) **copy running-config startup-config**

DETAILED STEPS

Procedure

| | Command or Action | Purpose |
|-------|--|---|
| ステップ1 | configure terminal Example: <pre>switch# configure terminal switch(config)#</pre> | グローバル設定モードを開始します。 |
| ステップ2 | clock summer-time zone-name start-week start-day start-month start-time end-week end-day end-month end-time offset-minutes Example: <pre>switch(config)# clock summer-time PDT 1 Sunday March 02:00 1 Sunday November 02:00 60</pre> | 夏時間を設定します。 <i>zone-name</i> 引数は、タイムゾーンの略語（PST、ESTなど）である3文字のストリングです。 <i>start-day</i> 引数と <i>end-day</i> 引数の値は、Monday、Tuesday、Wednesday、Thursday、Friday、Saturday、およびSundayです。 <i>start-month</i> および <i>end-month</i> 引数の値はJanuary、February、March、April、May、June、July、August、September、October、November、およびDecemberです。 <i>start-time</i> および <i>end-time</i> 引数の値は、hh:mmフォーマットです。 <i>offset-minutes</i> 引数の範囲は、0～1440分です。 |
| ステップ3 | exit Example: <pre>switch(config)# exit switch#</pre> | グローバルコンフィギュレーションモードを終了します。 |

■ デバイス クロックの手動設定

| | Command or Action | Purpose |
|--------|---|---|
| ステップ 4 | (Optional) show clock detail Example: switch(config)# show clock detail | 設定された MOTD バナーを表示します。 |
| ステップ 5 | (Optional) copy running-config startup-config Example: switch# copy running-config startup-config | 実行コンフィギュレーションを、スタートアップコンフィギュレーションにコピーします。 |

デバイス クロックの手動設定

デバイスがリモートの時刻源にアクセスできない場合、クロックを手動で設定できます。

Before you begin

タイム ゾーンを設定します。

SUMMARY STEPS

1. **clock set time day month year**
2. (Optional) **show clock**

DETAILED STEPS

Procedure

| | Command or Action | Purpose |
|--------|---|--|
| ステップ 1 | clock set time day month year Example: switch# clock set 15:00:00 30 May 2008 Fri May 30 15:14:00 PDT 2008 | デバイス クロックを設定します。 <i>time</i> 引数のフォーマットは <i>hh:mm:ss</i> です。 <i>day</i> 引数の範囲は 1 ~ 31 です。 <i>month</i> 引数の値は January 、 February 、 March 、 April 、 May 、 June 、 July 、 August 、 September 、 October 、 November 、および December です。 <i>year</i> の引数の範囲は 2000 ~ 2030 です。 |
| ステップ 2 | (Optional) show clock Example: switch(config)# show clock | 現在のクロック値を表示します。 |

Related Topics

[タイム ゾーンの設定 \(4 ページ\)](#)

クロック マネージャの設定

Cisco Nexus シャーシのコンポーネントのすべてのクロックを同期するように、Clock Manager を構成できます。

手順の概要

1. **clock protocol protocol vdc vdc-num**
2. (任意) **show run clock_manager**

手順の詳細

手順

| | コマンドまたはアクション | 目的 |
|--------|---|--|
| ステップ 1 | clock protocol protocol vdc vdc-num 例： <pre># clock protocol ptp vdc 2</pre> | クロック マネージャを設定します。 The values for the <i>protocol</i> argument are ptp , ntp , and none . 次に、値について説明します。 <ul style="list-style-type: none"> • ptp : IEEE 1588 で記述されているとおりに、クロックを高精度時間プロトコル (PTP) と同期します。 • ntp— Synchronizes clocks with Network Time Protocol (NTP). • none - clock set スーパーバイザ クロックの設定に使用します。 (注) none が使用されている場合、指定の VDC のクロックを構成する必要があります。 (注) プロトコルが設定されたら、指定の VDC のクロックはそのプロトコルを使用する必要があります。 たとえば、 clock protocol ptp vdc 2 コマンドを入力すると、VDC 2 に PTP が設定されます。 <i>vdc</i> 引数の範囲は、1 ~ 8 です。 |

| | コマンドまたはアクション | 目的 |
|--------|--|----------------------|
| ステップ 2 | (任意) show run clock_manager 例： <code>#show run clock_manager</code> | クロック マネージャの設定を表示します。 |

ユーザーの管理

デバイスにログインしたユーザの情報を表示したり、それらのユーザにメッセージを送信したりできます。

デバイス コンフィギュレーションの確認

POAP を使用してデバイスのブートストラップ後の構成を確認するには、次のコマンドのいずれかを使用します：

| コマンド | 目的 |
|----------------------------|------------------------------|
| show running-config | Running Configuration を表示します |
| show startup-config | スタートアップコンフィギュレーションを表示します。 |

これらのコマンドの出力フィールドの詳細については、ご使用のデバイスの Cisco Nexus コマンド参考資料を参照してください。

基本的なデバイス パラメータのデフォルト設定

次の表に、基本的なデバイス パラメータのデフォルト設定を示します。

Table 1: デフォルトの基本的なデバイス パラメータ

| パラメータ | デフォルト |
|---------------|--------------------------|
| MOTD バナー テキスト | User Access Verification |
| クロック タイム ゾーン | UTC |

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。